

つながりの中でくらす  
望まれた人として生きる  
自分らしく生きていく



No. 45

2015年6月発行

## 保護者支援者向け研修会

日時：2015年5月16日（土）10:00～12:00

場所：地域生活サポートネットほうぶ

参加者：保護者・支援者 19名

講師：伊丹昌一氏（梅花女子大学・大学院 心理学科 教授）



思春期の障害をもつ子どもたちとどのように向き合い関わっていけばよいのか、障害児の性に関する指導をテーマに、伊丹先生のお話を聞きました。障害とは？不都合とは？何に困っているのか？という入門編から始まり、身体の清潔、排泄について、そして、二次性徴についてなど、もりだくさんな内容を具体的な例を紹介しながら、わかりやすくお話をしてくださいました。最後に、質疑応答でさらに学びを深めました。保護者の方々、そして、教師、デイサービスの職員など、みなさん、熱心に受講されました。



### <参加者の感想から>

- ・ 根にあるものは何か、困っているものは何かをしっかりと見極め支援していくことの大切さを痛感しました。具体的に、そして、肯定的に伝えていきたいと思います。性に関する指導を行う中で、身だしなみ排泄指導が大切なことを知れたこともとても大きかったです。難しさを楽しみあきらめずに行っていきたいと思います。
- ・ 「片手の距離」の指導をさっそく今日から始めたいと思います。まず、ほめること、肯定で指導というのも、改めて、注意していききたいと思います。
- ・ 障害の理解「不都合は減らせる」ということをまず学校の先生方に知っていただきたいと思いました。「信頼できるおとな」の存在は障害のあるなしに関わらず大事だとつくづく思いました。その出会い、出会う機会が難しいのでしょうか。具体的なお話、絵、とてもよくわかりました。

- ・ 障害児や障害者の施設で働いています。大変勉強になりました。「あきらめたら支援は終わる」という言葉が心に残りました。あきらめないで頑張りたいと思います。
- ・ 私自身めげる日もありますが、頑張っていこう！という気持ちになることができ、良かったです。
- ・ 周りの大人がいいモデルになるためには、母だけではなく、家族で共有しないといけないですね。とても貴重なお話を聞かせていただき、ありがとうございました。いろいろな支援を試しながら、失敗もよい糧にして支援を続けていこうと思います。

## 市立科学館に行こう！



日時：2015年5月16日（土）10：00～16：00

場所：地域生活サポートネットほうぶ ～ 大阪市立科学館

参加者：障害をもつ子どもときょうだい 11名、学生ボランティア 9名

京阪電車に乗って、大阪市立科学館に行きました。プラネタリウムを見たり、サイエンスショーを観たりして、楽しい時間を過ごしました。学校の遠足で行ったことのある子どもが多く、みんな慣れたようすで楽しく遊んで帰りました。

### <ボランティアの感想から>

- ・ 初め、プラネタリウムへ行くのを嫌がっていましたが、中へ入るととても喜んでいて、星が輝くたびに声を出されていて良かったです。キュービックロボやロボット学天則に大変興味を持って長いこと見ていました。
- ・ 距離感のはかり方が最初は難しかったのですが、一緒に行動するうちに仲良くなりました。
- ・ 電車が好きで、いろんなことに興味を持つ性格のようで、一人でウロウロしてしまうことが多かったのですが、危険なところ、皆から見えないところには行くことはなかったので、良かったです。科学館では、プラネタリウムも星座を次々と答えていて楽しそうでした。展示場は気に入ったところを何度もまわっていました。帰る際に、「楽しかった」と何度も笑顔で言ってくれていて良かったと思います。
- ・ 初めての参加で、少し不安もありましたが、だんだんとお互いに打ち解けて、楽しく過ごせたと思います。
- ・ 今日、男子2名と一緒に行動していたのですが、仲が良くて科学館ではずっと一緒に行動していました。二人とも走ると発電する装置でずっと走っていて、科学館に行っていたのに、ジムに行っているかのような運動量をこなしていました。水分補給の声かけはしたので水分はたくさんとっていました。



# 「和んで音楽会」に行こう！



日 時：2015年2月21日（土）9：30～13：00

場 所：地域生活サポートネットほうぶ ～ 大阪府立旭高校

参加者：障害をもつ子どもときょうだい 7名、学生ボランティア 4名

2月のスケートに続いて、旭区の障害者と関係者の交流の場である「和んで座談会」のイベントに、団体で参加させていただきました。区内の施設の方々の歌などが披露され、旭高校の吹奏楽部の演奏がありました。体育館での演奏はとても迫力があり、みんな楽しそうに聴いていました。その後、ポンポンを作り、吹奏楽部の演奏に合わせて手を振ったり身体を動かしたりして、身体いっぱい音楽を楽しみました。

## ＜ボランティアの感想から＞

- ・今日は子どもたちと一緒に音楽を聞けてとても楽しかったです。全体的に音楽を演奏している時はみんな静かに聴けていて、とてもえらいなと思いました。このような大きな場所で聴く音楽はまた一味違うのだなと改めて感じました。
- ・音楽会では、音楽にのって体をゆすったり、作ったポンポンでリズムに乗ってくれたりして楽しんでくれていたと思います。昔、トランペットをやっていたので、今日の活動は特に楽しかったです。次回もぜひ参加したいと思います。
- ・ボランティアで初めてイベント行事に参加させていただきました。引率するということが少し不安でしたが、自分から話しかけたりしてくれたので、嬉しかったです。音楽会では「この歌は前に学校で歌ったよ」など、たくさんお話しをしたり一緒に歌ったりして楽しく過ごせました。他の施設の方々の活動を見ることもでき、いろいろと知ることができたと、学ぶところも多々ありました。
- ・初めて会う子なので緊張しましたが、歩きながら、お互いの好きな嵐のことについて話したり、好きな服装について話したり、ポンポンをつくったり、いろいろな話をして、すごく女の子っぽい子だと思いました。初めの不安もとんでいって、すごく楽しかったです。最後には冗談言い合って笑いあったりして嬉しかったです。



# 放課後等デイサービス「楽童ほうぷ」報告

3月の梅に続き、つつじ、さつき、そして、あじさいと、鉢植えの花だけではなく、ほうぷの庭は、色とりどりの花がたくさん咲きました。



4月25日土曜日に保護者の交流も兼ねて、鶴見緑地公園でバーベキューをしました。4月なのに夏のような日射しで暑い日でした。デイの子どもたちは、いつもの土曜のとおり朝からやってきて、午前中は野菜を切ったりじゃがいもをアルミホイルで包んだりして準備をしました。前日、みんなで、生クリームからバターを作り、じゃがバターを食べるのも楽しみにしていました。バーベキュー場では、保護者用のテーブルと子ども用のテーブルを分けて、保護者の方々が交流できるようにしました。バーベキューの後、鶴見緑地公園の植木市で農作物の苗を買ってきました。今年は、ミニトマト、ゴーヤ、イチゴ、オクラ、すいか、きゅうり、とうもろこしに挑戦です。



翌週、子どもたちと一緒に、野菜の苗を植えました。毎日、水やりをして成長を見ていましたが、ゴーヤとオクラが枯れそうになったので、旭区ボランティアビューローから、「あおむし会」というグループを紹介していただきました。苗の育て方等のアドバイスをいただき、ゴーヤとおくらの苗をいただきました。今後、農作物の世話などをご指導いただけると心強く思っています。

5月には、トイレの修繕とプレイルームの雨漏りの修繕をしました。この施設改修は、2015年度日本郵便の年賀寄附金の助成を受けて行ったものです。トイレの入り口のスロープがなくなり、フラットになりました。便器や手洗いが新しくきれいになり、手すりもつけてもらいました。障害をもつ子どもたちにとって、トイレの指導は大切なことなので、とてもうれしいです。また、これから梅雨の長雨や台風の季節が来ても、雨漏りの心配をしなくてよくなりました。日本郵便の年賀寄附金配分事業の支援に感謝します。また、工事についての相談やアドバイスをしてくださった有思考設計さんと工事をしてくださった齊藤工務店さんに心よりお礼申し上げます。



3月末から、「10分プリント」と称して、みんなでテーブルに向って、それぞれが課題に取り組む時間を設定しました。強制はしていませんし、勉強に対して苦手意識の強い子どもたちですが、自分の好きなプリントを選んでできるからか、積極的に参加しています。そして、それぞれが興味のある内容に取り組むので、とても集中をしています。10分間だけの集中という時間設定も良かったのかもしれませんが。また、5月からは「はてな?のじかん」という取り組みも始めました。実験や工作をします。第1回目はスライム。みんなとても熱中してスライム作りをしました。これらの活動を通して好きな事を深め、自信

につながったり、勉強の意欲が出てきたりしたらいいなと思います。

定期的な活動として、クッキング、七宝焼きや音楽の時間は継続しています。外遊びも大好きで、近くの公園に行き、「缶けり」や「はないちもんめ」「かごめ」などをしましたが、公園で遊んでいる近所の子どもたちも入ってきて、しばしば地域の子もたちと一緒に遊ぶこともありました。

個人将来計画ワークショップを開催して、学校の先生と連携をはかりながら計画作成をしたり、ケース会議を他事業所と連携をして行ったりして、支援内容の充実に努めました。土曜日には学生ボランティアさんが遊びに来てくれるようになりました。



旭区

## ● 情報 掲示板 ●

### 地域福祉ビジョン

2006年から取り組んできた旭区アクションプラン「あさひあったかまちづくり計画」は昨年度で終了し、今年度から旭区地域福祉ビジョンが始まります。基本理念は、「みんなで支え合うあたたかい旭区をめざして」。地域福祉ビジョンの取り組みは、まだ具体化されていないようです。「あさひあったかまちづくり計画」で築いてきた区内のさまざまなつながりや地域住民主体の活動が引き継がれ、今後もまちづくりの活動が活発化することを願います。

基本理念の4つのキーワード と 4つの重点方針

- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・子育てNo.1をめざして</li><li>・「ご近所」精神</li><li>・区民が担う地域福祉</li><li>・手をたずさえる旭区民</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・子育てしやすいまちづくり</li><li>・見守り、支え合いによる安心して暮らせるまちづくり</li><li>・誰もがいきいきと活躍できるまちづくり</li><li>・地域福祉コミュニティを豊かにする仕組みづくり</li></ul> |
|---|---|

「あさひあったかまちづくり計画」の中で取り組んできた「和んで座談会」「あさひあったかきち」等の活動は継続されていくようです。

### 第7回 子育てわいわい広場 in ASAHI

日時：7月2日（木）10時～12時

会場：旭区民センター 大ホール小ホール

### あさひキッズカード

小学校入学までのお子さん一人につき1枚発行されます。旭区内でのご利用です。



## ○ 平成27年度事業計画 ○

平成27年度は、地域でのネットワークを活かし、障害児通所支援事業、障害児者の自立に向けた支援、子育て支援、まちづくりの推進に関する企画及び研究などの事業を継続していく。

### ◎ 児童福祉法に基づく障害児通所支援事業（放課後等ディサービス）

事業内容をより充実させ、「子どもからはじめる個人将来計画」による計画作成や実践を継続し、障害をもつ子どもたちが安心できる居場所となり、社会生活体験を広げていく場所となることを目指していく。個別懇談やケース会議などを開催し、保護者や関係者とともに、子

どもたちが自分らしい生き方を見つけていくことができるような取り組みを行う。また、地域の方々との関係をより深めることができるよう活動をしていく。

トイレの修繕とプレイルームの雨漏りの修繕を行う。平成27年度日本郵便の年賀寄附金の助成を受けて改修工事。

#### ◎ 障害児者の自立に向けた支援事業

「自立生活プログラム・子ども版」を用いた実践として、平成26年度から実施しているイベントを継続し、地域住民や学生ボランティアの協力を得ながら、子どもたちの社会生活体験を広げていく。イベント開催予定は以下の通り。

- 5月16日(土) 保護者支援者研修会「障害児の性に関する指導」
- 6月6日(土) 和んで音楽会に参加しよう
- 7月11日(土) 海遊館に行こう
- 8月4日(火) 浴衣を着て出かけよう
- 9月19日(土) なんばおにごっこに参加しよう
- 10月24日(土) バスツアー(堺市・南楽園)
- 11月 日未定 研修会
- 12月19日(土) ファッションショー&クリスマス会
- 1月・2月・3月 昔遊び・節分の豆まきと巻寿司作り・花見

バスツアー以外のイベントは、旭区社会福祉協議会「児童育成事業等助成」の助成金により開催予定。バスツアーに関しては、大阪府福祉基金地域福祉振興助成金を申請中。また、旭区地域自立支援協議会に参加して、地域の障害者福祉の推進に取り組み、子ども部会においては、障害者相談支援事業所や学校などと連携して区内の障害児相談支援を充実させるための活動に取り組む。

#### ◎ 子育て支援事業

未就学の障害児と保護者の居場所づくりとして、「ほうふのつどい」の広報に努め、活動を充実させる。旭区社会福祉協議会「福祉ボランティア活動応援資金」助成金を利用予定。また、「旭区子育て安心ネットワーク」、「あさひの輪」などの子育て支援関係の定例会に参加して情報交換を行い、「子育てわいわい広場」などのイベントや講座の開催などへ協力していく。

#### ◎ まちづくりの推進に関する企画及び研究事業

旭区アクションプランから地域福祉ビジョンへの移行により、地域の福祉力が低下しないよう、地域住民と協働して住みよいまちづくりに取り組む。

ほうふの庭の紫陽花が美しく咲きました。住民主体の地域福祉活動であった旭区アクションプラン(あさひあったかまちづくり計画をすすめよう)が昨年度で終了し、旭区地域福祉ビジョンが始まります。旭区地域自立支援協議会こども部会の取り組みともリンクできればと思います。今後、当法人がどのような役割を担っていくことができるかを考えながら活動をしていきたいと思っています。今年も活動の転換期でもあります。紫陽花のように色を変え、雨の中でも美しく咲き続けたいと思います。

